

より進化した生徒会へ 全力で

新生徒会役員決まる



▲新生徒会役員
集合!

活動方針について
話し合い中

十二月十九日に実施された生徒会役員選挙。前年度に引き続き、今回も全役員信任投票となり、立候補した全員が信任されました。

「できることを精一杯」 新役員に聞く

新生徒会の役員となった七名にこれからの意気込みを聞いてみました。

◇生徒会長

J2 木下真斗さん
会長として全力で頑張ります。一年間よろしくお願ひします。

◇副会長

E2 岩永聖哉さん
できることを精一杯いたします。よろしくお願ひします。

◇会計

C2 橋本葉奈さん
生徒会役員の一人として、皆さんのサポートを頑張ります。

◇書記

C2 秀島史香さん
他の役員の足を引っ張らないように、自分ができることをしっかりとやります。

◇P1

小原由貴さん
自分の役割をしっかりと果たします。唯一の一年生役員なので、他の生徒会役員に負けないよう頑張ります。

▼昨年度から引き続きのメンバーに新メンバーも加わった新生徒会の役員

人と人を繋ぐ挨拶

「おはようございます」「おはよう」「こんにちは」「失礼します」「おつかれさまでした」「じやあね」「おやすみなさい」など世の中にはさまざまな「あいさつ」の言葉があります。

「おはよう」「こんにちは」「失礼します」「おつかれさまでした」「じやあね」「おやすみなさい」など世の中にはさまざまな「あいさつ」の言葉があります。もし、「あいさつ」がない世界があったとしたらどうでしょう。たとえに入ったとき、初対面の人に「あいさつ」の言葉

もなく、いきなり話しかけるのは難しい気がしませんか。かといって何も声をかけないというの、なんだか寂しい気がします。近くに人がいるのに、すぐ挨拶、自分一人で過ごしているのと同じ状況を作ってしまうようなものではないでしょうか。言葉がないと人と関わるきっかけをなくしてしまう。言葉がないとコミュニケーションがとれない。コミュニケーションがとれないと、いざ用事がある時などに話しかけられなくなりま。だからこそ日本だけでなく世界中に

私達も協力しより良い生徒会にしたいですね。より進化した生徒会に。新生徒会長に聞く。役員交代にあたって前生徒会長のJ3山口紗杏さんに役員を終えたの思いなどを聞きました。Qこの一年間会長を務めてみての感想をお願いします。A予想していたよりも生徒会の運営は難しかった気がしますが、大変なことがたくさんあったけれども、とてもやりがいがありました。多くの先輩からのねぎらいの言葉があり、たがったので、振り返ると不甲斐ない生徒会だったと思いがあふれますが、協力してくださった皆様に感謝したいと思います。Q良かったことは何ですか。A授業などで関わりながら先生方からも声をかけられるなど、いろいろな人と関わることでできたこと。Q新生徒会へ一言。A昨年の反省を生かし、



▲笑顔で話す
旧生徒会長山口さん

一年間の集大成
魁せた最高の演奏
第十五回吹奏楽部定期演奏会
一月六日にチトセピアホールにて行われた吹奏楽部の第十五回定期演奏会。会場内はほぼ満席で、少し遅れて来た人は立ち見になるほど賑わっていました。十五回目となる今回は開演前にロビーで三曲の演奏があり、何人も人がめたり、演奏をカメラに収めたり、演奏される音楽に聴き入ったりしていました。演奏会ではコンクールの課題曲のような本格的な曲から、最近よく話題に上がるような曲まで幅広いジャンルの音楽の演奏が披露されました。時

吹奏楽部新部長
J2 西川若菜さん
練習は大変だったが、これが最後の三年生を思う一心で頑張った。良い形で見送りができたと思う。部長として全員が心を一つにできることが一番の目標です。

吹奏楽部顧問
馬場剛先生
大成成功だった。非常に多くの方に来ていただいた演奏にも気が入っていた。三年生の想いが一つになったのを感じた。最高の演奏をありがとう。

吹奏楽部旧部長
I3 山田姫果さん
長工らしい、楽しい演奏会になった。来てくだ

新生徒会へ期待すること
新生徒会へ期待することとを一般生徒にも何人か聞いてみました。三年生からは「今年度は体育祭で男女同じ競技に参加することに挑戦してほしい」「スムーズな行事」など、新生徒会への期待が込められています。また、一年生からは「新生徒会が普段どんな活動をしているのかを詳しく知りたい」「わからない」という声も返ってきました。また、二年生からは「新生徒会が活躍している活動を知りたい」という声も聞かれました。また、三年生からは「新生徒会が活躍している活動を知りたい」という声も聞かれました。

青春日記
今日一枚
今日一枚は三年生アンケートの写真です。卒業生が近づくと三年生全員に書いていたアイデアシート。内容は主に学校生活を振り返っての思い出を書き込んだり、回答の多様さに集計の大変さをついさうっかり忘れてしまっている。全てお見せできないのがとても残念。私の高校生活もあと一年と少し。あとどれくらい良い思い出を作ることができるでしょうか。部活での楽しい思い出なら、すでにたくさんできています。ぜひ、(中野)の運営を期待します。一方、一年生からは「新生徒会が普段どんな活動をしているのかを詳しく知りたい」「わからない」という声も返ってきました。また、二年生からは「新生徒会が活躍している活動を知りたい」という声も聞かれました。また、三年生からは「新生徒会が活躍している活動を知りたい」という声も聞かれました。

たなど自分で感じます。自分も物事は先に進まないで、いろいろな経験を通して思うようになり、進んでいく。他の人が進んで取り組まないことが芽生え、話変わって先日、職員室で先生にインタビューをし、退室しようとしたところ、「君って三年生だよ。引退したいの？」と聞かれました。別の日には他の先輩から「まだ頑張つて」と。新聞部は卒業と同時に引退するのが伝統なので、よろしくお願ひします。三学期初めの学年集会で「卒業気分になるな」という話がありました。確かに、卒業を目の前にして気が緩んでしまっている、と感じることがあります。日々小さな目標を立て、無気力なままの学校生活を過ごすことのないよう心がけたいと思います。(渡部)

いろんな「楽しい」が勢揃い

観光通りの「技能まつり」に参加

十一月十一日に観光通りで開催された技能まつり。長工ブースでは機械システム科が龍踊り列車工業化学科が銅を金色に変える実験、インテリア科が木工体験、ロボット研究部が自作したロボットやゲームの体験を行いました。

楽しんでもらって嬉しい 長工のイベント

参加した各ブース代表生徒に感想を聞きました。
◆機械システム科 P3 本多巧さん
「子どもが楽しんでくれているのが嬉しかったです。」

楽しんでほしい インテリア科

◆木工体験をして、出来上がった嬉しかった。I2 松島未由さん
「楽しんでくれている姿を見ると、嬉しいと感じました。」
◆ロボット研究部 M1 玉置晃希さん
「お客さんが喜んでくれているのが嬉しかったです。」

見て楽しい～工業化学科 化学の力で金色に

◆銅が金色になる実験
「銅が金色になる実験、実際に変化して化学の力で凄いなと思いました。」
◆普段の生活を回って、ブース全体を回って。
「普段の生活にはないワーク、ドキドキがあった。まるで異世界に来たよう。子供心をくすぐられた。長工生は真面目で、将来の夢を街の人と共に形にしようという雰囲気を感じた。」

作って楽しい インテリア科

◆木工製作体験
「木工体験をして、出来上がった嬉しかった。」

遊んで楽しい ロボット研究部

◆ロボットも操縦して運びます
「ロボットの操縦が楽しかったです。」

体調不良編
てふ互生!!!
パート③
～僕とインフルとポカリと～

発熱

～病院～
インフルですね

ポカリカッテキタヨ

母 39.1℃

母 コワレカケテキタヨ?

母 あんたがね

※…大丈夫か?

▼長工ブースの賑わいは1科の福島先生が「材料が足りなくなってきた、来てくたさって」お客さんを断ると話すほど。例年通り大盛況だったようです。

多くの人の ものづくりの魅力を 主催者にインタビュー

技能まつりを主催した長崎県職業能力開発協会の事務理事を務める沸田正博さんにもインタビュー。Q お話を伺いました。A 高校生が「ものづくり」に取り組むことについて、これまで日本を支えてきたものづくり、技術職に就く若者が少ない現状、若者がものづくりに関心を持つことはとても大切だと思います。

「ものづくりの魅力を 主催者にインタビュー」

Q「技能まつり」の催しについて。A この催しも回数を重ねてきたら、観光通りを活用して、多くの人に見てもらって、県内の人々を巻き込んで、

「郷土を愛し 興味を持ってほしい」

潜伏キリシタン関連遺産について下宍神父に聞く。昨年七月に世界遺産に登録された、長崎と天草地方潜伏キリシタン関連遺産。カトリック長崎大司教区本部事務局長で、お話を伺いました。実は教会は今回の登録を進めた側ではなく、見守る側でした。

「ものづくりの魅力を 主催者にインタビュー」

Q 建築物としての価値もですが、何より「潜伏」キリシタンの歴史に最大の魅力。潜伏信仰を守り続けた人々がいた稀有な点が特に大きなポイントだと思っています。しかし、一方では登録されること、教会が観光向けの場所となり、信仰の場としての教会の存在が損なわれないか」と心配する声もあがっていました。声の若い人たちに、望むこと何ですか。

「ものづくりの魅力を 主催者にインタビュー」

Q 建築物としての価値もですが、何より「潜伏」キリシタンの歴史に最大の魅力。潜伏信仰を守り続けた人々がいた稀有な点が特に大きなポイントだと思っています。しかし、一方では登録されること、教会が観光向けの場所となり、信仰の場としての教会の存在が損なわれないか」と心配する声もあがっていました。声の若い人たちに、望むこと何ですか。

「ものづくりの魅力を 主催者にインタビュー」

Q 建築物としての価値もですが、何より「潜伏」キリシタンの歴史に最大の魅力。潜伏信仰を守り続けた人々がいた稀有な点が特に大きなポイントだと思っています。しかし、一方では登録されること、教会が観光向けの場所となり、信仰の場としての教会の存在が損なわれないか」と心配する声もあがっていました。声の若い人たちに、望むこと何ですか。

「ものづくりの魅力を 主催者にインタビュー」

Q 建築物としての価値もですが、何より「潜伏」キリシタンの歴史に最大の魅力。潜伏信仰を守り続けた人々がいた稀有な点が特に大きなポイントだと思っています。しかし、一方では登録されること、教会が観光向けの場所となり、信仰の場としての教会の存在が損なわれないか」と心配する声もあがっていました。声の若い人たちに、望むこと何ですか。

「ものづくりの魅力を 主催者にインタビュー」

Q 建築物としての価値もですが、何より「潜伏」キリシタンの歴史に最大の魅力。潜伏信仰を守り続けた人々がいた稀有な点が特に大きなポイントだと思っています。しかし、一方では登録されること、教会が観光向けの場所となり、信仰の場としての教会の存在が損なわれないか」と心配する声もあがっていました。声の若い人たちに、望むこと何ですか。

「ものづくりの魅力を 主催者にインタビュー」

Q 建築物としての価値もですが、何より「潜伏」キリシタンの歴史に最大の魅力。潜伏信仰を守り続けた人々がいた稀有な点が特に大きなポイントだと思っています。しかし、一方では登録されること、教会が観光向けの場所となり、信仰の場としての教会の存在が損なわれないか」と心配する声もあがっていました。声の若い人たちに、望むこと何ですか。

シリーズ
ロボコン道
最後の調整

▲青く光ったLEDパネル

現在、ロボット研究部は引き続き福祉施設に持つていくLEDパネルの製作を活動として行っています。現在は、いくつかの調整が行ったため、最後の調整が行ったLEDパネルに、今度こそゴールが見えてきました。一つ一つの調整をしっかりと仕上げ、最終のひとふんばり気（D1 川瀬）を締めたいです。

現在、ロボット研究部は引き続き福祉施設に持つていくLEDパネルの製作を活動として行っています。現在は、いくつかの調整が行ったため、最後の調整が行ったLEDパネルに、今度こそゴールが見えてきました。一つ一つの調整をしっかりと仕上げ、最終のひとふんばり気（D1 川瀬）を締めたいです。

現在、ロボット研究部は引き続き福祉施設に持つていくLEDパネルの製作を活動として行っています。現在は、いくつかの調整が行ったため、最後の調整が行ったLEDパネルに、今度こそゴールが見えてきました。一つ一つの調整をしっかりと仕上げ、最終のひとふんばり気（D1 川瀬）を締めたいです。

長崎の良さを
ふるさと講話&
ふるさと甲子園決勝大会

▲優勝したA2の発表

十一月十四日に行われたふるさと講話。本校の三好展弘先生、長崎の暮らして、さあ、甲子園に挑戦しよう、という意気込みで、ふるさと講話を行いました。長崎の良さを、ふるさと講話を通じて、甲子園に挑戦しよう、という意気込みで、ふるさと講話を行いました。

十一月十四日に行われたふるさと講話。本校の三好展弘先生、長崎の暮らして、さあ、甲子園に挑戦しよう、という意気込みで、ふるさと講話を行いました。長崎の良さを、ふるさと講話を通じて、甲子園に挑戦しよう、という意気込みで、ふるさと講話を行いました。

「郷土を愛し
興味を持ってほしい」

▲丁寧に話される下宍さん

今回キリシタン関連遺産が世界遺産に登録されたことで、長崎が注目されることが多い。長崎だから、そう考える。長崎文化の思いや身近な食文化についても興味関心を持ってほしい。私は学生のとき、長崎の美味しさを味わった。お話を伺うなかで、下宍神父さんからは、長崎の関連遺産だけでなく、長崎の郷土に誇りを持ってほしいという思いが強く伝わってきました。自分自身がふるさとを誇り、地域について、改めて関心を持ち、理解を深めていくことの大切さを感じました。

一年生な日々
皆さんはじめまして。新に入部した川林です。名前は空之新、その名の通り、ローマ字で書くこと。二十一文字にもなるのが、悩みの種です。反省文ならば、何度か書いた経験がある私ですが、そうでもないケースで、文章を他人様に見せることに慣れていません。緊張しながら書いています。さて、ついに三学期に突入しました。それだけに、次のステップへと進むべきが近づいています。その目標は「勉強が好きになる」です。その目標達成のために、最も勝つ必要があるのが「居眠り」です。私は中学校から高校一年生の二学期まで、睡眠との戦いに何回も負けてきました。笑い話には、長工を卒業して、私に出なければいけません。そのときに自分はこのまま、でいいのかなと思いつき、最近よくあります。というところで、気合を入れて、直して「頑張ろう」と思いますが、まずは人に宣言して、頑張るパネにしようと思いつき、今回ここに書いてみました。初めで、こんなことしか書けません。これからもよろしくお願います。二年生になっても初心を忘れることなく、日々精進していければと思います。(川林)